

# 第9次静岡県保健医療計画（がん）の 素案について

- 全体構成（スライド2）
- 中間見直しからの変更点（スライド3～8）

# 全体構成

## 骨子

### 対策のポイント

- 精度管理されたがん検診の実施と受診促進
- がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進
- 住み慣れた地域でのがん患者療養支援機能の充実

### (1) 現状と課題

#### 【課題】

- がん検診受診率の向上
- がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進
- がん患者療養支援機能の充実

### (2) 対策

#### 【(次期計画) 数値目標項目(案)】

- ・がん検診精密検査受診率
- ・対県標準化死亡比  
(最大の地域と最小の地域の比較倍率)
- ・がん患者の就労支援に関する研修受講者数

#### 【施策の方向性】

- がん検診受診率の向上
- がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進
- がん患者療養支援機能の充実

## 素案 (下線は骨子からの変更点)

### 対策のポイント

- 精度管理されたがん検診の実施と受診促進
- がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進
- 住み慣れた地域でのがん患者療養支援機能の充実

### (1) 現状と課題

- ア がんの現状
- イ 本県の状況
- ウ 医療提供体制  
(ア) がんの予防・がんの早期発見  
(イ) がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進  
(ウ) がん患者療養支援機能の充実

### (2) 対策

- ア 数値目標
  - ・がん検診受診率
  - ・対県標準化死亡比  
(最大の地域と最小の地域の比較倍率)
  - ・がん患者の就労支援に関する研修受講者数

#### イ 施策の方向性

- (ア) がんの予防・がんの早期発見
- (イ) がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進
- (ウ) がん患者療養支援機能の充実

# 中間見直し（第8次計画）からの変更点①

## （1）全体構成に合わせた記載位置の変更

### 中間見直し（第8次計画）

#### （1）現状と課題

- ア がんの現状
- イ 本県の状況
- ウ 医療提供体制
- (ア)がんの予防・がんの早期発見
- (イ)がんの医療提供体制

#### (ウ)がんの治療・支援

がんゲノム医療、希少がん・難治性がん、  
高齢者のがん治療、小児・AYA世代のがん、  
支持療法、リハビリテーション、全国がん登録  
に関する内容

### 素案（下線は変更点）

#### （1）現状と課題

- ア がんの現状
- イ 本県の状況
- ウ 医療提供体制
- (ア)がんの予防・がんの早期発見
- (イ)がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進

がんゲノム医療、希少がん・難治性がん、  
高齢者のがん治療、小児・AYA世代のがん、  
支持療法、リハビリテーション、全国がん登録  
に関する内容

#### (ウ)がん患者療養支援機能の充実

# 中間見直し（第8次計画）からの変更点②

## （1）全体構成に合わせた記載位置の変更

### 中間見直し（第8次計画）

#### （2）対策

ア 数値目標

イ 施策の方向性

(ア)がんの予防・がんの早期発見

(イ)がんの医療提供体制

(ウ)がんの治療・支援

がんゲノム医療、希少がん・難治性がん、  
高齢者のがん治療、小児・AYA世代のがん、  
支持療法、リハビリテーション、全国がん登録  
に関する内容

### 素案（下線は変更点）

#### （2）対策

ア 数値目標

イ 施策の方向性

(ア)がんの予防・がんの早期発見

(イ)がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進

がんゲノム医療、希少がん・難治性がん、  
高齢者のがん治療、小児・AYA世代のがん、  
支持療法、リハビリテーション、全国がん登録  
に関する内容

(ウ)がん患者療養支援機能の充実

# 中間見直し（第8次計画）からの変更点③

## （2）第4次がん対策推進計画における重点項目について追記

### 【がんの予防と検診】

頁	記載位置	内容(下線は変更箇所)
2	(1)現状と課題 イ 本県の状況 (がん検診受診率等)	○ <u>2022年度の市町がん検診受診者数は延べ981,480人であり、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年度と比較すると96.8%と、概ねコロナ禍前の受診者数に回復しつつありますが、未だ、完全回復に至っていません。</u>
7	(2)対策 イ 施策の方向性 (ア)がんの予防・がんの 早期発見	○ <u>がん検診の受診率向上に向け、静岡県対がん協会等の関係団体との連携によって、対象者などを意識した適切な啓発活動を、引き続き、行います。</u>  ○ <u>新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、感染症発生・まん延時等にごがん検診の提供体制を一時的に縮小した場合でも、状況に応じて速やかに提供体制及び受診行動を回復させることができるよう、平時における準備等の対応について検討します。</u>

# 中間見直し（第8次計画）からの変更点④

## （2）第4次がん対策推進計画における重点項目について追記

### 【緩和ケアと支持療法の更なる充実】

頁	記載位置	内容（下線は変更箇所）
3	(1)現状と課題 イ 本県の状況 (支持療法)	○ <u>脱毛、皮膚や爪の障害など、がん治療に伴う外見の変化に対するケア（アピランスケア）は、近年その重要性が認識されています。県では、2019年4月から、「若年がん患者等支援事業費補助」を実施し、アピランスケアの支援を行っています。</u>
4	(緩和ケア)	○ <u>緩和ケアについては、終末期のケアであるという誤解や医療用麻薬についての依存性に関する偏見があります。</u>
7	(2)対策 イ 施策の方向性 (イ) <u>がん患者一人ひとりに応じた治療と支援の推進</u>	○ <u>アピランスケアを支持療法の一環として捉え、拠点病院等のアピランスケアの実状を把握し、アピランスケアの普及及び県内の連携体制の構築を進めます。</u>
8	(ウ) <u>がん患者療養支援機能の充実</u>	○ <u>緩和ケアに関する正しい知識の普及啓発を、引き続き、推進します。</u>

# 中間見直し（第8次計画）からの変更点⑤

## （2）第4次がん対策推進計画における重点項目について追記

### 【高齢者のがん対策】

頁	記載位置	内容（下線は変更箇所）
5	<b>(1)現状と課題</b> ウ 医療提供体制 (イ) <u>がん患者一人ひとりに 応じた治療と支援の 推進</u>	○ <u>高齢者のがんについては、全身の状態が不良であることや併 存疾患があること等により、提供すべきがん治療の標準化が困 難です。</u>
8	<b>(2)対策</b> イ 施策の方向性 (イ) <u>がん患者一人ひとりに 応じた治療と支援の 推進</u>	○ <u>高齢のがん患者一人ひとりの状況に応じた適切ながん診療を 提供できるよう治療のあり方について、静岡県がん診療連携協 議会に設置された支持療法部会、緩和ケア部会等で検討し、 県内の医療機関に対する働き掛けを行います。</u>  ○ <u>高齢者であっても比較的安全に手術が受けられる低侵襲医 療を推進するため、県内の拠点病院における低侵襲医療体制 の整備を支援します。</u>

# 中間見直し（第8次計画）からの変更点⑥

## （2）第4次がん対策推進計画における重点項目について追記

### 【がん情報の均てん化】

頁	記載位置	内容(下線は変更箇所)
4	<b>(1)現状と課題</b> イ 本県の状況 (希少がん、難治性がん)	○ <u>県民が希少がんへの対応可能情報を確認できるように、静岡県がん診療連携協議会ホームページで各拠点病院のがんの診療状況を公開しています。</u>
8	<b>(2)対策</b> イ 施策の方向性 (ウ) <u>がん患者療養支援機能の充実</u>	○ <u>がん患者やその家族の高齢化に伴い、地域の公民館や図書館等の身近な施設で、がん診療体制や医学的に正しいがん治療法等の情報を容易に得られる仕組みづくりを進めます。</u>